

◆ WEEKLY REPORT ◆

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific Basin Group

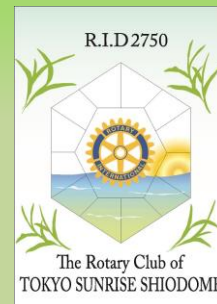
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME

2019-20 年度 会長 アンドリュー・ウォン

クラブテーマ「で愛い、ふれ愛い、たすけ愛い、世界をつないでいこう」



R.I. 会長 マーク・マローニー



No.214 13. Feb. 2020 発行

第211回 例会

【日時】2020年2月6日(木) 12:30~13:30 【例会場】ザ ロイヤルパークホテル 東京汐留
【例会出席】会員数 19名 名誉会員2名 【出席者】14名 ビジター 0名 ゲスト 1名
【出席率】70.0%
【ニコニコBOX】¥ 9,000— ≪今年度累計≫ ¥ 283,737—

≪プログラム≫

- ◇ 開会点鐘
- ◇ 斉唱：「国家」「R-O-T-A-R-Y」
- ◇ 会長挨拶
皆さん体調はいかがですか？コロナウイルス対策として必ず手洗いをして下さい。マスクも必須です。
- ◇ 幹事報告
本日理事会で会員増強の際、他クラブからの移籍は入会金が必要ないとなりました。3月11日関上地区への参加出来る方は是非よろしくお願ひします。 山本直道幹事
- ◇ 委員会報告
愛知とし子：1月19日のチャリティコンサートが無事に終わりました。大盛況で終わったのですが、今度は障害のある子供たちの施設の修繕や必要な物に寄付を使用したいと思っています。
- ◇ ゲスト・ビジター紹介
David Russell 様：先月参加させて頂きとても楽しかったので、会長にお願いして再び参加させて頂きました。とても有意義で素晴らしい会だと思ひます。是非皆さんとお話したいと思ひます。
- ◇ 出席報告
山本直樹会員
板橋一成会員
- ◇ ニコニコボックス発表(敬称略)
アンドリュー・ウォン：Davidさん、ようこそおいで下さいました。近いうちにご入会をお願い致します。
山本直道：18日の親睦旅行、初日の昼から夕方まで、名古屋観光しましょう！よろしくお願ひします。
愛知とし子：購入して3か月のスマホを紛失。携帯で何もかも出来るようになった分、かなり大変な作業と不安がりましたが、何とか全て元に戻りホッとしています。
湯川愛里：今週火曜日、久しぶりに成田空港へ人を迎えに行きました。いつもとは違う暗いムードに包まれていました。ウィルス騒動早く終息すると良いですね。
立堀佳男：官庁の入札シーズンになりました。これから1カ月半は大変です。
熊谷行裕：学生時代の友人の娘さんがバイオリニストでNYで管弦四重奏団をやっていますが、先日、彼女たちの弾いた現代音楽のCDがグラミー賞のクラシック部門で賞を取りました。結構すごい事のようにです。

◆ 会長：アンドリュー・ウォン ◆ 幹事：山本直道 ◆ 副会長：愛知とし子【発行責任者】アンドリュー・ウォン
【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会場】ザ ロイヤルパークホテル 東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196
【URL】<http://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

戸張浩幸：ホテル業界はコロナウイルスで大変な事になりました。中国人のお客様がキャンセル続出しています。

◇ 卓話 『ロータリー財団グローバル補助金申請プロセス手順&クラブ内運営法についての提案』

湯川愛里会員

始めに昨年9月に実施したロータリー財団の勉強会のおさらいから始めたいと思います。ロータリー財団の補助金システムを理解するにあたり、以下の略語は是非覚えておいてください。『RI：国際ロータリー』『TRF：ロータリー財団』『DDF：地区財団活動資金』『WF：国際財団活動資金』『DG：地区補助金』『GG：グローバル補助金』RIとTRFの大きな違いは、RIは人頭分担当で、TRFは寄付金の運用益で運営されているという事です。TRF寄付金の種類には、年次基金、恒久基金、使途指定寄付の3つがあります。私達が申請する補助金は、3年前の年次基金及びその運用益から還元されるシェアシステムを採用しています。GGを申請する際には「ロータリーの6つの終点分野」に該当するプロジェクトで且つ持続可能なものでなければなりません。現状2750地区では、年間申請は平均1~3件くらいと低水準に留まっています。

ここで私の方からGGプロジェクト外のク運営方針について提案したいと思います。現在我々のクラブでは個人提出案件も含め9件が稼働しています。しかしながらこの中で、どの国と、どのようなパートナーシップで、どのような活動をしているかを把握している方がどれだけいらっしゃるのでしょうか？クラブの国際奉仕活動とするのであれば、他人事とせず会員全員の積極的な参加意識を持ってプロジェクトを進めるべきではないでしょうか。今後プロジェクトの立ち上げについては、理事会・協議会で事前に良く議論した上で進めるべきであると思います。その上でクラブの承認を得て、皆が「よしやろう！」という意気込みが無ければ達成感も有りませんし、たとえその奉仕活動が表彰されたとしても、クラブ内に活動内容が分からない人が居ては恥ずかしいと思います。全員で参加意識を持ったやり方を考える必要があると思います。そのためには、プロジェクト毎に責任者を指名してタイムスケジュールを作成し、定期的なフォローとクラブ内で定例報告を行う義務を負うくらいの体制を整えるべきではないかと考えます。まとめとして、クラブの親睦も含め、意義ある奉仕活動を共有して進めていくためにも、もっと話し合う機会を設けましょう。是非参加意識を高く持って頂きたいと思います。

◇ 講評

アンドリュー・ウォン会長

湯川さん、有難うございます。我々は姉妹クラブがあります。そこから情報を得て活動の情報を拡げていくことが出来ます。そういったものを活用して幅を広げていければと思います。

◇ 閉会の点鐘

アンドリュー・ウォン会長



アンドリュー・ウォン会長



山本直道幹事



愛知とし子副会長



板橋一成会員



David Russell 様



湯川愛里会員

《今後の主な行事予定》

- ◇ 2月18, 19日 親睦旅行
- ◇ 2月24, 25日 地区大会

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 2月13日 休会
- ◇ 2月20日 12:30~13:30
- ◇ 2月24, 25日